

# 取扱説明書

## 型番：S-SEC21B



**保証期間： 購入日より12ヶ月**

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。

### ●故障かな？と思ったら●

**お問い合わせ・修理をご希望をされる場合**  
support@thanko.jp に空メールをお送りください。  
自動返信でご案内いたします。

※**自動返信が来ない場合**  
送信前に「@thanko.jp」のメールが受信できるよう設定の上ご送付ください。

QRコードを読み取り、空メールを送信できます。



### 不具合品のご送付先

ご送付いただくだけでは対応ができない為、必ず空メールをお送りいただき、内容をご確認の上ご送付ください。

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-3-1  
EL内 サンコーサポート宛  
TEL 03-3526-4328  
(月～金 10:00～12:00 13:00～18:00 土日祝日を除く)  
お問い合わせメールアドレス : support@thanko.jp

### ⚠️ ご注意

- ※空気を入れる前に、タイヤの推奨空気圧値を必ず確認してください。特に、車や自転車の場合、空気を入れすぎると破裂などの危険性が高まり大変危険です。推奨空気圧値がわからない場合は、タイヤを購入した購入店やメーカーなどに問い合わせを行い、必ず確認するようにしてください。
- ※適切な空気の流れを維持するために、ホースを曲げないでください。
- ※空気を入れている間は無人にならず、必ず監視を行うようしてください。
- ※ホースを人間や動物の口、耳、または目に挿入しないでください。
- ※タイヤやボールを膨らませるなど、本来の用途以外に使用しないで下さい。
- ※最初の使用時はフル充電してからお使いください。
- ※小さなお子様の手が届くところで保管、使用しないでください。
- ※内容品に記載している以外の物は付属しません。
- ※高温/多湿/火気近くで保管、使用しないでください。
- ※記載されている物以外は付属しません。
- ※落としたり強い衝撃を与えないでください。
- ※分解しないでください。
- ※本製品をご利用において生じる物品の破損は、補償の対象外となります。
- ※製品仕様は改善のため予告なく変更する場合があります、そのため説明書記載の内容と異なる場合があります。

### ●仕様

サイズ	高さ120×幅78×奥行50(mm)
重量	約390g
バッテリー容量	リチウムイオン 7.4V/2,000mAh
入力	5V/1A
USB出力	5V/1A
最大出力空気圧	150PSI
充電時間	4時間
使用可能時間	30分
連続使用可能時間	5分
LEDライト駆動時間	12日(LEDのみの場合)
LEDライト消費電力	0.5W
内容品	本体、充電ケーブル、ロック式ホース(米式)、ネジ式ホース(米式)、自転車用アダプタ(英式)、ボール用アダプタ、風船用アダプタ、日本語取扱説明書
保証期間	購入日より12ヶ月

※仕様は予告なく変更する場合がございます。

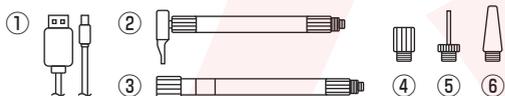
### ●電池のリサイクルについて



Li-ion

本製品は、リチウムイオン電池を内蔵しています。この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの製品を廃棄・リサイクルする場合は、地方自治体の指示に従ってください。

### ●セット内容/各部名称



#### 【付属品】

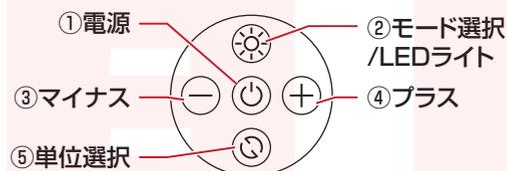
- ①充電ケーブル
- ②ロック式ホース
- ③ネジ式ホース
- ④自転車用アダプタ
- ⑤ボール用アダプタ
- ⑥風船用アダプタ

### ●液晶説明



- ①**充電残量**  
本体の充電残量を表します。残量1本につき約25%です。
- ②**モード**  
バイク / 車 / ボール ・自転車他 の3つから選択が可能です。
- ③**空気圧**  
設定した数値や注入中の数値を表示します。
- ④**単位**  
PSI / BAR / KPA / Kg/cm<sup>2</sup>の4つから単位を選択できます。

### ●各種ボタン説明



- ①**電源**  
長押しで電源をON/OFFします。
- ②**モード選択/LEDライト**  
3つのモードとLEDのON/OFFが選択可能。
- ③/④**マイナス・プラス**  
空気圧の設定時に使用します。
- ⑤**単位選択**  
4つの単位を選択できます。

### ●単位について

自動車や自転車の**適正空気圧(または指定空気圧)はタイヤの側面に必ず表示されている**ので規定値を超えないようあらかじめご確認ください。

また、空気圧の単位は種類やタイヤ、メーカーによって単位が異なります。あくまで目安としてご参照ください。

バイク	[KPA] [Kg/cm <sup>2</sup> ]
一般自動車	[KPA] [Kg/cm <sup>2</sup> ]
自転車	[KPA] [PSI] [BAR]
ボールなど	[BAR]

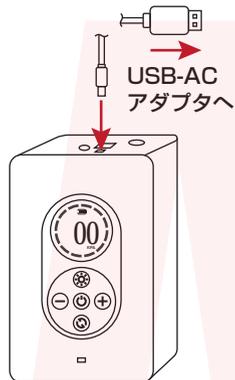
※1BAR=100KPA  
※1bar≒約1kg/cm<sup>2</sup>

続く→

## ● 本体を充電する

付属の充電ケーブルを本体の充電ポートに差し込み、反対側をUSB-ACアダプタ(別売)へ接続します。

充電中は液晶の充電残量マークが、左から右に点滅します。満充電となると液晶の充電残量マークが点灯したままとなります。(約4時間で満充電)



## ● LEDライトを使用する

LEDライトボタンを長押しするとLEDが点灯します。消灯する場合は再度長押しするとOFFになります。※空気を入れたいときでも単体で使用が可能です。

## ● 自転車に空気を入れる

バルブキャップを外し、「自転車用アダプタ」を回して取り付けます。  
※一部自転車では、自転車用アダプタは不要です。

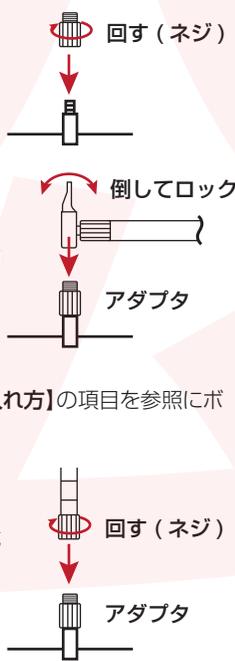
### 【ロック式ホースを使う場合】

ロック式ホースの先端を奥まで差し込み、横から見て、先端の黒いロックを左右のどちらかに90度倒すとロックされ、ホースが抜けなくなります。

ホースを繋いだら、【空気の入れ方】の項目を参照にボタンを操作してください。

### 【ネジ式ホースを使う場合】

※ロック式ホースでは空気が漏れる場合などは、「ネジ式ホース」を利用してください。ネジ式ホースの先端を奥まで差し込みます。



## ● 空気の入れ方

### 【空気圧を設定する】

- ①電源ボタンを長押しし、電源を入れます。
- ②モードボタンで該当するモードを選びます。**バイク** / **車** / **ボール・自転車他**
- ③単位ボタンで任意の単位を選択してください。
- ④プラス・マイナスボタンで入れたい空気圧を設定してください。
- ⑤電源ボタンを押すと空気の注入がスタートし、画面に注入中の空気圧が表示されます。設定した空気圧に達すると自動で停止します。(途中で停止したい場合は再度、電源ボタンを押してください)
- ⑥ロックを起こす、またはネジを回してホースを外し、バルブキャップを戻してください。

※連続で5分以上使用しないでください、本体が熱を持ちます。再度使用する場合は本体が十分に冷めるまでお待ちください。

※使用直後はホースの根本(金属部分)が熱くなりますのでご注意ください。

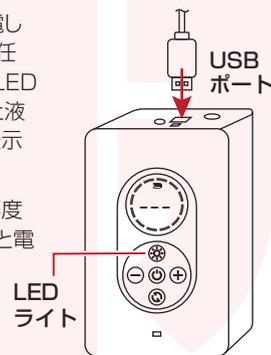
先端の内側部分はネジになっており、回すことで対象物のアダプタとつながるようになっています。回らなくなるまで先端を回転させてください。

ホースを繋いだら、【空気の入れ方】の項目を参照にボタンを操作してください。

## ● モバイルバッテリーとして使用する

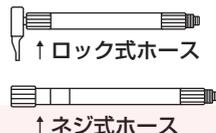
本体のUSBポートに充電したいデバイスを接続した任意のケーブルを差し込み、LEDライトボタンを1度押しと液晶に充電残量と「---」が表示され給電が始まります。

充電を停止する場合は再度LEDライトボタンを押すと電源がOFFとなります。



## ● 本体にホースを繋ぐ

ホースはロック式とネジ式の2種類(米式)、付属しています。ロック式の方が使いやすくなっておりますが、用途に合わせてお選びください。



ホースのネジ側を、本体のホース穴に回し入れます。

## ● 本体にホースを繋ぐ

用途に合わせて、ボール式用アダプタまたは風船用アダプタを、ネジ式ホースに回して取り付けます。



【空気の入れ方】の 目を参照にボタンを操作してください。

## ● 自動車/バイクに空気を入れる

### 【ロック式ホースの場合】

空気を入れたい車/バイクのバルブキャップを外し、ホースの先端を奥まで差し込みます。

ホースを横から見て、先端の黒いロックを左右のどちらかに90度倒すとロックされ、ホースが抜けなくなります。

### 【ネジ式ホースの場合】

空気を入れたい車/バイクのバルブキャップを外し、ホースの先端を差し込みます。

先端の内側部分はネジになっており、回すことで対象物のバルブとつながるようになっています。回らなくなるまで先端を回転させてください。

ホースを繋いだら、【空気の入れ方】の項目を参照にボタンを操作してください。

## ● バッテリーの充電・保管について

- 内蔵バッテリーは、充電して保存しても自然に放電しますので、使用する直前または前日頃に充電してください。
- 充電するときは、周囲の温度が 10℃～ 30℃(人間が快適と感じる温度)の範囲で充電してください。
- 温度が低くなるほど充電しにくくなり、内蔵バッテリーを消耗させます。また、高温では十分な充電ができません。
- 充電中や使用中、内蔵バッテリーが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。
- 保管するときは約50%充電状態で保管してください。
- 内蔵バッテリーは自然放電しますので使い切った状態で保管すると使用できなくなる恐れがあります。
- 高温条件、過放電(電池を使い切った状態)、過充電(満充電でも充電器につないだままの状態)状態での保存はしないで下さい。
- 半年に最低一度は必ずご使用ください。消耗の防止になります。
- 10℃～35℃の乾燥した場所で保管してください。
- バッテリー充電ポート・USBポートに水分や金属等、異物が付いていないか確認してから充電してください。

## ● microUSBケーブルの取扱いについて

- USBプラグやUSBコードを交換したり、傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしない。
- 傷んだUSBプラグやUSBコードは絶対に交換、分解、修理改造をしない。
- USBプラグやUSBコードが破損した場合は直ちに使用を中止する。
- USBプラグは根元まで確実に差し込み傷んだUSBプラグやUSBコードは使わない。
- ぬれた手でUSBプラグを抜き差ししない。
- 使用時以外はUSBプラグを差したままにしない。
- 持ち運び時や収納時にUSBコードを引っ張らない。
- USBコードを機器にはさまない、USBコードを引っ張ったまま使用しない。
- 本体、USBプラグにほこりが溜まっていないか定期的に点検する。
- USBプラグ、USBコードの差しこみがゆるい時は使用しない。
- 充電中USBコードの上に物をのせない。
- USBプラグの抜き差しは、先端をもって行い、USBコードは引っ張らない。
- ※使用中USBプラグやUSBコードが異常に熱くなったり煙や異臭が出るようなときは直ちに使用を中止してください。